香川県高等学校PTA連合会
香川県高P連だより 第20号

令和6年3月1日発行　発行・編集／香川県高等学校PTA連合会事務局　高松市西内町7番11号　香川県高等学校PTA会館内
TEL087-851-4614　FAX087-851-4628　E-mail info@kagawa-koupren.com　URL http://kagawa-koupren.com/

「大学・地域共創プラットフォーム香川」との連携事業
【第1回 県内大学・短大合同進学説明会】開催

12月9日（土）、かがわ国際会議場において、「第1回県内大学・短大合同進学説明会」を開催しました。昨年4月に、設立された「大学・地域共創プラットフォーム香川」と連携した事業で、生徒のキャリア形成や進路実現の支援、各大学・短大の特色や改革の動きの紹介を目的として実施しました。

第一部では、代々木ゼミナール大阪南校主幹研究員である山根正義氏から、「保護者のためのキャリアガイダンス」と題して講演がありました。

講演では、最近の大学改革の動向について紹介されたあと、コミュニケーション力など人間力を多面的に評価する入試の増加を踏まえ、高校時代は部活動やボランティア活動などの社会活動を大切にする必要性を強調されました。

その後、香川県内にはほぼすべての学部が設置されており、大学時代の学びは県内でほぼ完結することや、県内企業のグローバルな展開や大卒者の就職状況など、進学の際に調べて検討すべき内容のご指導がありました。

最後は、大学・学部決定に際しては大学への憧れ、興味関心、将来の職業の3つを中心に考えると努力するようになることや、親子でオープンキャンパスに行くべきであることなど、保護者向けのガイダンスをたくさんいただきました。

第2部の「大学・短大による説明」では、県内の8大学・短期大学から、それぞれの学校の特色や教育方針、設置学部・学科の教育内容、入試制度、奨学金制度など多岐にわたる説明がありました。それぞれアピールポイントを絞って独自色を出した紹介となりました。キャリアガイダンスとして高校時代に身に付けてほしい力や高校生活で取り組んで欲しい学習や活動に関するアドバイスも多くの学校からいただきました。

説明会の詳細は高P連のHPでご確認ください。今後、アンケート調査の結果をもとに、来年度以降より充実した研修会になるよう検討していきます。

第28回大学・専門学校訪問研修会

10月20日（金）・21日（土）の『第28回大学・専門学校訪問研修会』に保護者・教職員等66名が参加しました。今年は「日本一シリーズ」のテーマで、次の4校の先進的な取組みを学びました。

大阪公立大学（杉本キャンパス）

令和4年度に大阪市立大学と大阪府立大学が統合して誕生した、統合校としては日本一新しい公立大学です。入学定員も公立では日本一の大学です。

近畿大学（東大阪キャンパス）

一般入試の総志願者数が10年連続日本一に輝いた、15学部49学科を有する日本最大級の総合大学です。世界大学ランキングでは全国私大1位です。

辻調理師専門学校

「料理界の東大」と言われ、「世界三大料理学校」の一つに数えられます。プロ仕様の設備が揃う実習室を見学し、著名な先生の料理講習会も体験できました。

大阪工業大学（大宮キャンパス他）

実就職率が関西私大で14年連続一位で、日本唯一の知的財産学部を設置する大学です。

それぞれの学校での研修成果の詳細は、高P連のHPで紹介しています。

目次

県内大学・短大合同進学説明会、第28回大学・専門学校訪問研修会 …1
第5回香川県高P連研修会報告 …2
新規高P連助成事業の報告
キャリアデザイン研修（高松短期大学） …3
キャリアデザイン研修（四国学院大学） …4
PTA活動報告（高松高等学校、香川丸亀支援学校） …5
令和6年度主要行事予定案 …6
祝表彰
PTA NEWS
高校生総合保障制度ご案内

第5回香川県高P連研修会報告（文部科学省委託事業ネットモラルキャラバン隊）

防災研修『3. 11を学びに変える』

9月16日（土）、レクザムホール多目的大会議室において、第5回高P連研修会を開催しました。今年度は防災研修として、宮城県の元中学校教諭で、現在は一般社団法人smart Supply Vision特別講師の佐藤敏郎氏による講演会を実施しました。

講演会では冒頭、佐藤氏が当時勤務されていた女川第一中学校での被災体験に続き、学校再開後の俳句作りのプロジェクトについて紹介されました。

「故郷を奪わないでと手を伸ばす」など、心に響く数々の句をまとめた本『女川一中生の句あの日から』や、東松島の高校生たちの話をまとめた『16歳の語り部』も紹介され、若者達とともに未来や希望を見つけたいと話されました。

佐藤氏は、当時石巻市の大川小学校6年生の次女みずほさんを津波で亡くされ、この事態にどう向き合えばいいのかわからなかったが、校庭に残る「未来を拓く」という言葉に勇気づけられ、大川小学校を「未来を拓く」場所にしたいと活動されています。講演では、当時の教訓をもとに、大変重要なご指導やご提言を数多くいただきました。要点は次のとおりです。

・地震発生から津波襲来まで51分。時間や情報、手段、想定が全て揃っていても救えなかった。山は命を救わない、ハザードマップは津波を止める壁にはならない。これらを避難行動に繋げるのが防災。行動に繋げ、備えることで未来が変わる。未来を変える大事な作業が防災である。

・死にたくない、死なせたくない、それが防災意識。防災は死なないため、助かるためにやるもの。そのハッピーエンドから逆算して今やるべきことをやる。

・避難まで決めることは「逃げるかどうか、どこへ逃げるか、逃げろ」の3つ。この判断のためには普段から決めておくことが大切。大事なことは普段の中にある。

・形骸化したマニュアル、会議、通達よりも、楽しく学び遊んだ学校が突然なくなったという事実に向き合うことが大切。

・生徒が命に見える。子どもたちは頭のてっぺんから足のつま先まで命。防災意識は命をどう見るかということ。

・「ただいま」「行ってきます」の日常、その繰り返しが防災。辿り着きたくなる家、会いたくなる家族、それが防災の原点。

講演の最後は、最近大川小学校では多くのボランティアが花を植えたり掃除をしていることや、現地で校長先生や先生方対象に研修を行っていることを紹介されました。また、未来に向けて全国で活躍している若者たちの様子も紹介されました。

約2時間にわたる熱い講演に会場は時間を忘れたかのように魅了されました。

研修会後のアンケートでは、「とても良かった」が97%、「よかった」が3%でした。具体的な感想を一部紹介します。

・涙を流さずには聞けない話だった。

・講演と質疑応答の全てが参考になった。

・訓練には本番がある。本気で訓練に向き合わなければならないと改めて感じた。

・防災が人としての大切な責務であることを明確に理解できた。

・「生徒が命に見える」の言葉の重み、目からウロコが落ちるものであった。

・行ってきます、ただいま、大切ですね。これからもみずほさんとともに未来に向かって。応援しています。

高P連のHPでは講演の詳細を公開していますので、ぜひご一読ください。

【新規事業】

単位PTAや学校教育の振興・奨励のための 高P連助成事業の報告

令和5年度助成対象団体・学校（6団体　各50,000円）

高等学校関係研究団体	ロボット相撲大会用の土俵制作	香川県高等学校教育研究会工業部会
積極的に教育研究を推進する学校	地域の高齢者のためのお弁当考案	坂出第一高等学校
	総合的な探究の時間の活動振興	藤井学園寒川高等学校
	古都京都の魅力発見と国際交流	高松北高等学校
特色ある取組みを推進する単位PTA	地域の美化活動と防災訓練計画	高松北高等学校 PTA
	生徒保護者対象の芸術鑑賞教室	大手前丸亀中・高等学校 PTA

ロボット相撲用の土俵
（高教研工業部会）

地域の高齢者のための「ふれあい弁当」
（坂出第一高校）

探究成果の発表と相互評価
（藤井学園寒川高校）

古都京都の魅力発見と国際交流
（高松北高校）

生徒・PTAで地域の美化活動
（高松北高校PTA）

「本物に触れる」芸術鑑賞教室
（大手前丸亀中学・高校PTA）

【高校生・保護者のためのキャリアガイダンス事業】

高校生の多様な進路希望の実現のため、県内の大学・短大と連携して、各学科の特色や大学生活の魅力、卒業後の進路、進路実現に向けたアドバイスなどの情報をお届けします。

高松短期大学

❶ 大学の特色

高松短期大学は、「幼児一人ひとりを見つめた教育」の研究・実践を目的とする高松東幼稚園を母体とし、その目的を実践できる教員を養成するために設置された全国でも稀有な学校です。そのため、「保育の高短」と呼ばれるほど、保育者の育成には歴史と実績があります。

児童教育学科の設置に続き、地域や時代のニーズに応えて、保育科第二部、音楽科、そして、ビジネス能力の高い女性を育成する秘書科を開設してきました。ビジネスマナーや情報処理スキルを身につけた秘書科の学生は地元企業での就職に強く、「就職の高短」とも呼ばれました。

現在では、保育学科、秘書科（コース：ビジネス秘書、医療事務、グローバルビジネス、ヒューマンＩＴ）の２学科となっています。さらに、令和６年度から、秘書科はビジネスデザイン学科として新たな歩みを始めます。

＊研究室制度

創立時から、建学の精神に掲げた、「対話にみちみちた」豊かな環境の中で、「自分で考え自分で行なえる人間」を育成することを目的に「研究室制度」を取り入れています。研究室は学生にとって学校生活の本拠であり、現在、保育学科には研究分野（保育、幼児教育、教育学、心理学、音楽、美術）別に、秘書科にはコースに応じ、それぞれ７つの研究室があります。各々の研究室を教員が担当し、入学から就職まで手厚くサポートします。学生は、１年生から少人数制の研究室に属し、教員と他学年の学生を交え、家族のような雰囲気の中で、学問研究やスキルの習得に取り組みます。ボランティア活動や交流活動、就職活動など、自らが計画し、実行する活動にも取り組みます。

＊強い就職（ミスマッチが少ない）

「保育の高短」「就職の高短」として地元の保育所、企業などに多くの卒業生を輩出し、強いつながりを持つとともに信頼を得ています。令和４年度就職実績は保育学科１００％（23年連続）、秘書科９８・１％となっています。また、多くの学生が、就職を希望する保育所、企業・医療機関などを実習やボランティアで実際に体験して自分に合った就職先を決めています。保育学科では、多くの学生が、毎週水曜日の「探究活動」なども活用してボランティア活動などを行っています。

❷ 保育学科の特色

保育の高度な専門的知識をしっかり学ぶだけでなく、ピアノの弾き歌いや造形表現などを楽しみながら学び、保育実践力や豊かな人間性などを身につけることができます。

さらに、現場実習をより多く取り入れており、子ども一人ひとりをよく観察し、寄り添い、支えるための的確な洞察力や判断力を身につけることができます。

幼稚園教諭二種免許状、保育士資格が取得できます。

＊本学独自の現場実習「観察参加」

１年次後期（火曜日の午前中）、高松東幼稚園・高松幼稚園にて、本学独自の「観察参加」を実施します。そして、子どもや現場の実態を観察し、ある程度理解を深めた上で保育実習や教育実習を始めます。「観察参加」は、子どもと直接触れ合うことができるだけでなく、登園からの園児の半日の過ごし方を知り、保育の進め方や声のかけ方、安全への配慮、園児の反応を直に学ぶことができます。日頃の授業でも「あのことがそうなのか」と理解を深め、「これができれば子どもたちと楽しい時間が過ごせる」と学習の意欲を高めるなど、「理論と実践」を融合させる学びの場となっています。

＊ピアノ・弾き歌いの練習環境の充実

それぞれの研究室に自由に使える電子ピアノがあります。また、ピアノ練習室（個室：16室）、電子ピアノ教室（電子ピアノ８台：５室）があり個人でもグループでも練習できます。希望者には、授業時間外の個人レッスンも行っています。

観察参加（園児との交流）

❸ 秘書科（ビジネスデザイン学科）の特色

＊４つのコース、検定・資格取得

１年生からいずれかのコースに属し、これからのビジネスシーンに対応できるスキルや実践力を身につけていきます。そのために、ビジネスマナー、ビジネス文書作成、基礎的なパソコン・プレゼンスキルなどの習得を基本として、コースごとに専門的なスキルを培います。授業で学ぶだけでなく、検定・資格取得に積極的にチャレンジして、実践的なスキルへと高めていきます。

コースの特徴は（②③は主なもの）、

①育成する人材
②取得をめざす検定
③取得ができる資格・修了証

ビジネス秘書（総合ビジネス）コース
①企業の総合職、銀行員、公務員など
②日商簿記検定、ＭＯＳ（エキスパート）
③上級ビジネス実務士

医療事務コース
①病院・調剤薬局等の受付など
②メディカルクラーク
③日本医師会認定「医療秘書」

グローバルビジネスコース
①外国人にも対応できる企業・ホテル・空港等のスタッフなど
②インバウンド実務主任者認定試験
③上級ビジネス実務士（国際ビジネス）

ヒューマンＩＴコース
①ＩＴ活用の多い総合職、公務員など
②ＩＴパスポート
③数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム（リテラシーレベル）修了証

※全コース共通
②秘書技能検定、ビジネス文書技能検定、ＭＯＳ（Word、Excel）
③上級秘書士、上級情報処理士、プレゼンテーション実務士

療職場実習（医事務）

四国学院大学

四国学院大学は、１９４９年に米国南長老教会L.W.モーア宣教師を学園長に迎え、四国基督教学園を設立したのが始まりです。『Vos estis sal terrae.』（汝らは、地の塩である。マタイによる福音書５章13節）をユニバーシティ・モットーに掲げており、これは「あなたがたは、〝塩〟のように、この世界で他のものにとって変わることのできない、〝必要不可欠〟な存在なのです。」を意味しています。

また本学では設立当初からリベラル・アーツを教育理念としています。リベラル・アーツとは、狭い学問的なことだけではなく、広い視野に立ち、さまざまな変化に遭遇してもしなやかに生きていける思考や感性を持つ人材育成を目標としています。現在は文学部、社会福祉学部、社会学部の３学部を設置しています。

緑豊かなキャンパス

❶ メジャー制度

１年次は少人数グループに分かれ、アカデミックスキルを養うとともに、演劇ワークショップやイベント参加を通じて人間関係形成能力を養います。そしてクラスター・アドバイザーの面談やガイダンス、メジャー基礎科目の受講を通じてメジャー（主専攻）を決定し、２年次より専攻領域の学びがスタートします。幅広い分野から学びたい分野を選択し、また自分の選択した主専攻以外からも学びを選択することができます。学部を越えて他の分野も組み合わせ学ぶことにより、主体的に自らの学びを作っていきます。２０２４年度からは新しく「経営と情報加工」メジャーと「アスリート科学」メジャーが誕生します。

❷ ドラマ教育

中四国で唯一、演劇の手法を通じて学生の感受性や表現力を磨き、社会に通じるコミュニケーション力を伸ばす「ドラマ教育」を行っています。また本学には演劇コースがあり、日本の第一線で活躍する講師陣によるトップレベルの授業で演劇を専門的に学ぶこともできます。四年制大学の強みを活かし、プロの俳優や舞台関係のオペレーターのみならず、教員や保育士、社会福祉士、公務員や一般企業でも活かせるコミュニケーション力を伸ばします。

❸ ピア・リーダー制度

ピア（peer）とは英語で〝仲間〟を意味する言葉。入学後の新入生に対し、不安を抱かずとも済むように適切なアドバイスや話し相手になる上級生が必要なのでは？と誕生したのがピア・リーダー制度です。新入生オリエンテーションやオープンキャンパスなどで訪れた高校生の案内役も行っています。

❹ 社会福祉

本学の社会福祉は、半世紀以上の長い歴史と伝統があります。現代社会の複雑で多様な問題に対応できる幅広い視野を持つグローバルな人材育成を行っています。座学に加え、実践的な学びも行っており、福祉現場経験のある教員も多数在籍し、授業を行っています。

また、社会福祉の研究とともに、障害学生の受け入れも積極的に行っており、ノートテイクサービスやアテンダント・サービス、手話通訳者の派遣などを実施しています。

❺ 資格取得

本学では、幼少中高特支教員免許、博物館学芸員、保育士、社会福祉士国家試験受験資格、精神保健福祉士国家試験受験資格などほかにも多数の資格取得ができます。資格取得を目指す学生には、より専門的なカリキュラムとドラマ教育により、資格取得をバックアップします。

❻ 学生生活・就職サポート

学生生活のサポートは『学生コモンズ支援課』が行います。学びに関すること、学費や奨学金、就職に向けての相談まで全てワンストップサービスを行っています。どこに相談すれば良いのかと迷うことなく相談することができます。２０２２年度卒業生の就職率は全国平均を上回る９８・３％です。

❼ 奨学金

本学では、返還の必要がない独自の支給奨学金を多数導入しています。２０２４年度より新しい支給奨学金「サール・テッラエ特別奨学金」と「フレッシュマン支給奨学金」が新設されます。

また「予約型支給奨学金」は入学前に結果通知を行います。年間20万円が支給され、約３年分の授業料で、４年間学ぶことができます。

問い合わせ先：四国学院大学入試課
電話：０１２０－４５９－４３３

ピア・リーダー

PTA活動紹介

高松高等学校

「独立自主」が信条。脇役としてのPTA。

高高（たかこう）の名で親しまれている本校は、令和5年に創立130周年という大きな節目を迎えました。いくつかの記念行事が行われましたが、令和5年12月14日に開催された高松高校芸術祭には、在校生や先生方はもちろん、300人を超える関係者も参加しました。第九・歓喜の歌の大合唱の様子を報道でご覧いただいた方もおられるかもしれません。

生徒と教師と保護者と一般の方が一つになって力強いハーモニーを生み出す演奏は、高高らしさを感じさせる大切な行事です。

さて、そんな高高のPTA活動ですが、特別な行事は行っておりません。生徒の「独立自主」の精神を重んじる校風もあるのでしょう。

PTAは、あくまでも脇役・見守役。制服をはじめとする各種必需品の選定会や保健委員会などへの参加の他は、生徒を見守り、各種活動をPTA会費で援助しています。

会費については、部活動の後援費を中心に、図書室の書籍などを購入する研究図書費、学校行事費に充てられています。これらの領域は、限られた予算枠の中では、どうしても後回しになりがちです。しかし、生徒の可能性を広げ、高校時代にしかできない活動や出会いにつながるものだと確信し、支援を行っています。PTA会費だからこそ迅速な対応が可能になることもあり、果たすべき役割は大きいと考えています。加えて、役員は、香川県高等学校PTA連合会等の行事に積極的に参加し、同会と学校や他の保護者との橋渡しも行っています。PTA活動は、保護者と先生方や学校をつなぐ大切な場。高高PTAは、頑張る生徒の頼れる味方として今後も活動を続けてまいります。

香川丸亀支援学校

本校のPTAは、会長と小学部・中学部・高等部から各一名ずつの副会長と学級役員が中心になり、「誰もが気軽に参加できる」をモットーに活動しています。主に、年三回のPTA新聞の発行、研修会や講演会の参加、将来の子ども達の就労先になる場所の視察を行っています。PTA新聞は子ども達が生き生きと活動する写真が多く掲載され、学校の様子が保護者に分かりやすく届けられています。就労先の視察は、卒後後のくらしを考えるにあたりとても大事なことなので、保護者に関心の高い内容です。加えて、進路担当の先生にも参加していただき、将来の生活を考える良い機会となっています。年四回の役員会では、役員の方々が気軽に意見を発言できるように、時間の許す限り参加された全員の方がお話できる事を目標にした、全員参加型の座談会を設けています。

さらに、本校では保護者主体となり取り組んでいる独自の活動が二つあります。一つ目は、「ハートフルラインの会」です。この会は、平成30年度、当時のPTA会長が中心となり立ち上がった防災の会です。災害対策をしなければという強い思いから始まりました。皆で一緒に災害から子ども達の命を守るために、自分たちでできる事を話し合ったり、安心手帳を制作したりと、災害への危機意識と防災への関心を高めるために学習しています。

二つ目は、「有志の会」です。子ども達が滞りなく学校生活を送る為に、先生方が特性に合わせて教材を準備しているのですが、その一部を請け負っています。作業をしながら、私達保護者ならではの子育ての嬉しい出来事や不安や悩みの共有ができる事を活動意義にした保護者の集まりです。時間の拘束や作業のノルマはなく、おしゃべりだけの参加も大丈夫です。どちらの会も小・中・高の学部を超えた保護者が交流できる場になっています。コロナ禍では、活動が紙面だけになる事や中止となる事がありましたが、二つの会は形を変えながらも会を受け継ぐ保護者の皆様の温かい心の火が灯り続け、今年度途中から再開が叶いました。

<有志の会での作業風景>

最後に、本校の教育ビジョンは「つなぐ」です。その言葉通り子ども達を中心に、学校と保護者、保護者同士のつながりをいつも大切に考え、これからも子ども達の笑顔や成長につながる活動をしていきたいと思っています。

令和６年度　主要行事予定案

5月23日(木)	●第1回定例理事会(高P連・振興会)
6月11日(火)	●PTA活動推進功労者表彰式・高P連総会並びに教育振興会定時評議員会・第2回定例理事会
7月12日(金)	●第66回中国・四国地区高P連大会高知大会(1泊2日の高P連プランをご案内します)
7月25日(木)	●第2回定例理事会(高P連)・第3回定例理事会(振興会)
8月22日(木)・23日(金)	●第73回全国高P連大会茨城大会(2泊3日の高P連プランをご案内します)
10月18日(金)・19日(土)	●第29回大学・専門学校訪問研修会(神戸方面の5校を訪問予定。8月初旬にご案内します)
11月9日(土)	●第2回県内大学・短大合同進学説明会
2月13日(木)	●第3回定例理事会(高P連)・第4回定例理事会(振興会)

＊上記の行事以外にも新たな行事を実施する可能性があります。理事会等で審議のうえ、実施可能になりましたらあらためてご案内いたします。

祝　表　彰

～おめでとうございます～

令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰（団体部門）

高松支援学校

PTA NEWS　高P連より

●「香川県高等学校等PTA広報誌コンクール」応募受付開始！（令和6年3月1日～ 3月22日）
●令和6年度「知事・県教委等への要望内容」及び「振興奨励費助成金」の受付（令和6年4月1日～ 5月15日）

香川県高等学校PTA連合会推薦　高校生総合保障制度ご案内

県高P連が推薦する当保障制度は、生徒さんの24時間のケガ・病気の補償はもとより、期せずして自転車事故の加害者となってしまった場合の賠償金も補償されます。過去にも自転車事故や扶養者の不慮の事故などで数千万円の保険金支払いがあり、当保障制度により子供さんたちやご家族の経済的・精神的負担を和らげることができると思っています。是非、この機会にご加入を検討いただけますようお願い申し上げます。

パンフレット配布スケジュール

在校生は、終業式または始業式など、新入学生は、合格説明会などで配布されます。

第一次募集締切：2024年3月31日（日）

↓

補償（保険）期間：2024年4月1日（月）より１年間

↓

※卒業まで自動更新

制度に関するお問合わせ先　【取扱代理店】
㈲アワード　高松市出作町305-2　TEL：087-888-6131
TMG（トータルマネジメントグループ）　高松市円座町510-5 101　TEL：087-813-5808
㈱アイネクスト　高松市木太町1130-3　TEL：087-861-1177

AIG　AIG損保
【引受保険会社】AIG損害保険株式会社
高松支店　TEL：087-851-0196
香川県高松市磨屋町8-1 あなぶき磨屋町ビル4F

S-240278（2025-02）